

# 平成 28 年度 自己評価結果公表シート

学校法人 清香学園

清香学園幼稚園

## 1、本園の教育目標

- ・人格形成の基礎として本園のめざす子ども像
- 1. 素直な明るいよい子
- 2. 少しがまんの出来る子の育成を重点目標にする

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

自ら探求する力を養いつながりのある保育の中で、友だちと共に育ちあい、自尊心を育む

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
自ら探求する力	子どもが自ら考え、興味のある事を更に探求していきながら、日々つながりのある保育ができる様に、保育内容にも変化をもたせつつ活動に取り組んでみた。しかし、行事内容や、カリキュラムの見直しが充分出来ず、前年度と同様行事中心に進んでしまったと感じる。しかし保育者は、ひとりひとりに向き合い子どもの気づきを大切にしながら、興味関心を引き出す努力は出来ていたと思う。しかし、つながりの部分では満足できる形ではなかったように思う。
育ちあう力	日々の保育での様々な事を経験したり、行事等を通して「みんなと共に育ちあう」と言う感覚をしっかりと味わう事が出来ていると思う。しかし年長組になっても、子ども同志の関わりの中での課題は多く見られたので、一人ひとりが互いに関わりを深めていける様、年少・年中での様々な経験、学びが不可欠であると感じた。

## 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども達一人ひとりに向き合い個々の育ちにに応じた保育、それぞれの個性を十分に発揮しながら充実した園生活を送っていたと思う。しかし前年度同様、行事中心の保育になる事が多くどうしても保育者主導の内容が増えてしまった傾向にある。保育者も日々の保育をこなす事が精一杯で余裕が持てず、苦勞が見受けられる事もあった。ゆとりを持ち子どもの興味関心をきちんと拾いながら、つながりのある保育が出来たかという点ではかなり課題が残る。目標達成に向けて今後はカリキュラム、保育内容の見直しをしつつ、何が子どもたちにとって大切かを今一度見直す必要がある。

又、教員一人ひとりの資質向上、更なる意識改革にも努めなければならない。経験年数に関わらず、今一度専門性を磨き子どもの育ちに寄り添ったより良い保育を考えていかなければならない。その為には、園内外での研修等にも積極的に参加する必要があると思う。

家庭との連携に関しては、個別懇談も行いある程度充実していたと思う。引き続き積極的に連携を深め、保護者にとって保育自体がわかり易く、見え易いものでありたいと思う。又配慮の必要な園児の観察、見極め、支援、保護者サポートにも力を入れていくべきと考えられる。

## 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育内容、カリキュラム、保護者参加行事等の見直し	園内研修の充実を図り、職員間での共通目標を明確化 行事における保護者の負担を軽減する。
園内研修、園外研修の充実	姉妹園、近隣園との交流、合同職員会議、合同研修 職員間での相談、意見交換、報告等の徹底、合同職員 会議、合同研修
地域・家庭との連携、及び、子育て支援活動の充実	保・幼・小・中学校との連携の継続、発展 未就園児参加行事の継続、発展 保護者との個人面談

## 6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると思われる。

## 7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。